

令和5年度

# 事業報告書



一般財団法人 札幌市スポーツ協会

## 1 地域スポーツ普及振興事業 (5,732 事業 138,665 人)

### (1) 教室事業・交流大会 (5,643 事業 95,425 人)

#### ア スポーツ教室事業 (5,580 事業 85,120 人)

各施設において、技術の向上や健康・体力づくりを目的とし、各種教室事業を実施した。

一般事業においては、近年、子どもの体力づくりへの関心が高まる中、「バドミントン教室」や「フットサル教室」などの球技系種目のほか、幼児向けの「体操教室」や小学生向けの「ダンス教室」などを実施し、子どもの体力づくりの場を順次拡大した。また、会社勤めの成人にも参加いただけるように「ナイトヨガ」などのフィットネス教室を実施したほか、「健康体操」や「水中ウォーキング教室」など高齢者がスポーツをはじめるきっかけとなるプログラムを実施した。プール施設における水泳事業では教室自動継続化を行い、教室抽選による落選者を作らない仕組み作りを実施した。さらに、障がい者スポーツ普及の観点から、水泳教室として「チャレンジスイミング」、体操教室として「チャレンジジム」を実施した。(5,481 事業 78,983 人)。

その他高等教育機関及び専門機関との連携事業として、北翔大学との連携による「運動あそびい・ろ・は」などのスクール事業 (32 事業 291 人)、学校開放施設を利用した「ヨガ教室」(4 事業 39 人)を継続実施するとともに、「カーリング教室・体験会」「アイスホッケー」などのウインタースポーツ活性化のための教室 (52 事業 5,569 人)、施設間合同事業として市内を9グループに分けて施設を横断的に利用する多目的体験型教室「DO! スポKIDS」、高齢者を対象とした健康に関する知識と実践力を身に付ける「DO スポ! シニア健康塾」(11 事業 238 人)など、季節や地域ニーズに応じた幅広い教室を実施した。

#### イ スポーツ大会、スポーツイベント事業 (63 事業 10,305 人)

各施設において、「スポーツの日無料開放」(25 事業 8,077 人)をはじめ、地域のスポーツ活動の支援となるテニスやサッカーなどの多種多様なスポーツ大会、カーリングのウインタースポーツ大会、教室受講生を対象としたダンス発表会などのイベント事業 (33 事業 2,086 人)を開催した。

また、複数の管理施設合同の「泳力検定会」「ハンドボール交流戦」事業 (5 事業 142 人)を開催した。

### (2) 普及啓発事業 (56 事業 16,058 人)

#### ア ウインタースポーツ塾/受託事業 (2 事業 8 種目 1,488 人)

札幌市からの受託事業として、市内の小学生を対象にウインタースポーツ8種目(アイスホッケー・フィギュアスケート・カーリング・リュージュ・スノーボード・スキージャンプ・クロスカントリースキー・ショートトラック)の体験会の企画・運営を担った。夏季4日間(4種目578人)、冬季5日間(8種目910人)実施し、計1,488人が参加した。

#### イ さっぽろっ子スケートチャレンジ検定事業/受託事業 (1 事業 933 人)

札幌市からの受託事業として小学生を対象に3会場(月寒体育館、美香保体育館、星置スケート場)で全29回実施。933人が参加し1,130枚の認定証が発行された。

#### ウ 歩くスキー常設コース事業/受託事業 (2 事業 白旗山2,565人/中島公園6,425人)

冬季間、歩くスキーの常設コースを白旗山競技場と中島公園に設置・管理するとともに、中島公園においてスキー用具の無料貸し出しを行った。

#### エ ウォーキングステーション事業 (5 事業 14 コース 750 人)

管理5施設をスタート・ゴール地点とした、国際市民スポーツ連盟(IVV)のイヤラウンドコースを設置し、距離の認定を行った。

#### オ スポーツキャラバン事業 (39 事業 1,047 人)

町内会及びPTA、企業などが行うスポーツ・健康づくり活動の促進を目的に、指導者の派遣、ニュースポーツ用具の貸出などを行った。

- (ア) 出前講習会として、イベントや企業における体組成測定や体力測定会を実施（7事業 410人）
- (イ) 指導員派遣として、連合町内会などの講座へ指導員を派遣（3事業 637人）
- (ウ) ニュースポーツ用具のレンタルとして、イベント等への用具を貸出（29事業）

カ 小学校水泳授業／受託事業（5事業 2,394人）

札幌市からの受託事業として、西区体育館温水プール、豊平公園温水プール、平岸プール、東温水プールの4施設において水泳授業を実施した。伏見小学校(680人)、発寒南小学校(392人)、東橋小学校(279人)、東山小学校(473人)、元町北小学校(570人)。

キ タグラグビー親子体験教室／受託事業（2事業 456人）

札幌市からの受託事業として、市内の小学生の親子対象で行うタグラグビー体験教室の企画・運営を担った。夏季は札幌ドームのホヴァリングサッカーステージ、冬は北ガスアリーナ札幌46と白石区体育館で実施し、延べ456人が参加した。

(3) 地域コミュニティ活性化事業（18事業 19,973人）

区役所、商店街組合、町内会などと連携し、指定管理施設では「手稲スポーツレクリエーション祭り」「東区健康スポーツまつり」「あつべつくスポーツチャレンジ」（10事業、4,783人）、指定管理施設以外では「花いっぱいプロジェクト」「新さっぽろ冬まつり」（7事業、15,174人）で地域活性化の活動・イベントに運営参画するとともに、水難事故防止を呼び掛けることを目的とした啓発事業「着衣泳体験会」（1事業16名）を実施した。

(4) 障がい者スポーツの普及促進事業（15事業 7,209人）

ア 札幌市障がい者スポーツ普及促進協議会への参画

札幌市の障がい者スポーツ行政推進への協力として、障がい者スポーツ普及促進における基本的な方向性と実現に向けた方策を協議する場である同協議会に参画した（6月・11月・3月開催）。

イ 障がい者スポーツ体験イベント／受託事業（2事業 1,374人）

(ア) 区体育館やプールなどの管理施設を会場とし、障がいのある方向けの体験会を15回実施した。うち1回は札幌ドームイベント「チャレンジ！スポーツパーク」内におけるブース開設とした。（1事業 1,232人）

(イ) 「雪にふれよう！わくわくウインターフェスタ冬季パラスポーツ体験会」として、月寒体育館・月寒屋外競技場にて、パラアイスホッケーとシットスキーの体験会を実施した。（1事業 142人）

ウ 冬季障がい者スポーツ指導者養成及び体験事業／受託事業（1事業 41人）

サッポロティネなどを会場とし、シットスキーのサポーターとバイスキーの指導者を養成するとともに、実践の機会として体験会を実施した。

エ パラスポーツ体験出張事業（12事業 5,794人）

(ア) 「イオン de パラスポ」におけるボッチャ・クロリティ等体験コーナー運営（6事業 4,659人）

(イ) スペシャルオリンピックス日本・北海道「EKS DAY 2023」の共催（1事業）

(ウ) 「さっぽろスポーツスノーフェスタ 2024」におけるシットスキー体験コーナー運営（1事業 248人）

(エ) 「チャレンジパラスポーツフェスタ」におけるシットスキー等体験コーナー運営（1事業 249人）

(オ) 「ウインタースポーツフェスティバル」におけるシットスキー体験コーナー運営（2事業 441人）

(カ) 札幌オリンピックミュージアム GW イベントにおけるシットスキー体験コーナー運営

（1事業 197人）

## 2 スポーツ大会・イベントの開催及び誘致等（72事業 34,860人）

(1) 札幌市民スポーツ大会の開催

広く市民の間にスポーツの振興・普及・発展を図り、健康の維持増進と文化生活的の向上に資することを目的に実施した。

ア 第64回札幌市民スポーツ大会総合開会式

開催日：5月18日（木）

会場：札幌サンプラザ コンサートホール

参加者数：153人

イ 市民スポーツ大会開催経費補助事業

加盟団体が実施する市民スポーツ大会開催経費の一部補助を行った。

事業数：49事業（49競技）

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため1競技は中止、3競技は未実施。

参加者数：17,892人（指定管理施設外：1,439人）

(2) 第46回北海道を歩こう

真駒内から支笏湖までのサイクリングコースを歩く、ウォーキングのイベントを実施した。

開催日：5月21日（日）

会場：真駒内中学校～真駒内カントリークラブ～支笏湖ポロピナイ

種目：33km、10km

参加者数：781人

(3) 6時間リレーマラソン in 札幌ドーム 2023

1周2kmの札幌ドーム特設コースをチームで走る、リレーマラソンの大会を実施した。

開催日：7月16日（日）

会場：札幌ドーム

種目：6時間リレーマラソン、42.195kmリレーマラソン

参加者数：4,268人

(4) 第48回札幌マラソン

真駒内セキスイハイムスタジアムをメイン会場としたマラソン大会を実施した。

開催日：10月1日（日）

会場：真駒内セキスイハイムスタジアム～

種目：ハーフマラソン、10km、ファンペア他

参加者数：10,238人

(5) 第44回札幌国際スキーマラソン

クロスカンリースキーの普及進行を目的とした国際連盟「ワールドロペット」に国内で唯一加盟する大会を実施した。

開催日：2月4日（日）

会場：白旗山競技場及び周辺コース

種目：スキーマラソン 50km・25km、歩くスキー10km・4km

参加人数：792人（国内667人、国外125人）

(6) スポーツ大会・合宿誘致及びスポーツツーリズムの推進事業（13事業 736人）

国際的及び全国的な規模で行われるスポーツ事業に関する協力及び支援を行った。

ア 国際大会誘致・合宿受入支援事業（3事業 207人）

(ア) どうぎんカーリングクラシック 2023 車いすカーリング国際親善試合・体験会 参加者数：26人

(イ) TOKIO インカラミ presents PARKOUR PREMIER CUP 2023 in 札幌 参加者数：121人

(ウ) 2024 トヨタ FIS パラアルペンスキーワールドカップ札幌大会 参加者数：60人

イ スポーツツーリズム推進事業（5事業 236人）

(ア) 観光コンテンツ造成（ナイトクロスカントリー in 中島公園） 参加者数：236人

(イ) 海外プロモーション事業

豪州向け事業（Snow Travel Expo 2023 出展）、米国向け事業（Snowbound expo 出展）、台湾向け事業（高雄マラソンにおける PR ブース設置）、シンガポール向け事業（NATAS TRAVEL 2024 出展）

ウ マラソンツーリズム推進事業（4 事業 293 人）

(7) 街 RUN 中島公園 利用者数：251 人

(イ) 街 RUN 中島公園 Winter 利用者数：12 人

(ウ) ランニングイベント「冬 RUN！中島公園」 参加者数：30 人

(エ) 「さっぽろ街ラン HP」「さっぽろ街ランガイド」の多言語化

エ スノーリゾート事業

定山溪温泉（JZK）をベースにした広域スキー並びにアフタースキーコンテンツ確立事業

(7) スポーツボランティアの啓発普及事業

ア スポーツボランティア登録状況・広報

スマイルサポーターズ登録管理、ボランティア登録者数の増加に向けたプロモーション、会報誌「With Smile」の発行、市内大学の講義による若年層の裾野の拡大

イ スポーツボランティア派遣・研修会

大会・イベントへの派遣、研修会の実施、小学校スキー学習支援事業、シットスキー支援

(8) スポーツ大会・イベントとの連携・協力事業

ア 北海道マラソン 2023 8 月 27 日（日）

イ ほっかいどう大運動会 2024 2 月 18 日（日）

ウ 札幌市室内陸上競技大会 3 月 17 日（日）

### 3 競技力向上・普及促進事業（345 事業 11,818 人）

(1) 加盟競技団体及びスポーツ団体等との連携、支援に関する事業（1 事業 67 人）

ア 加盟競技団体への支援など

加盟競技団体代表者・事務担当者会議を開催し、各種事務処理の説明や意見交換などを行い、各加盟競技団体相互の連携と融和を図るとともに、加盟競技団体などの要請に応じて、適時、各種大会運営及び組織体制強化充実等についての指導・助言を行った。

また、加盟競技団体などが行う事業に対し、要請に応じて後援・協力を行った。

加盟競技団体理事長・事務担当者会議

開催日：3 月 8 日（金）

会場：北海道立総合体育センター

内容：令和 6 年度各種補助金事業取扱について 他

イ スポーツ団体との連絡調整

公益財団法人 北海道スポーツ協会及び北海道内のスポーツ団体と連携し、加盟競技団体並びにスポーツ団体等に対する組織強化、育成に関する事業を円滑に行った。

(2) 競技力向上・普及促進事業（88 事業 10,161 人）

加盟競技団体が、選手強化・育成や指導者の資質向上及び各競技の普及促進を図ることを目的に実施する事業経費の一部補助等を行った。

ア 競技力向上指導者講習会（1 事業 91 人）

開催日：2 月 22 日（木）

会場：ホテルライフオーソ札幌 4階「アニマート」  
内容：『指導者と歩んだオリンピック そして今』  
講師：村田 諒太（元 WBA 世界ミドル級スーパー王者）  
須佐 勝明（2012 ロンドンオリンピック フライ級 日本代表）

参加者数：91 人

イ 競技力向上事業（58 事業 7,888 人）

(ア) 加盟競技団体が行う選手強化育成事業への経費補助

(27 団体 51 事業、参加者 6,285 人 指導者 888 人) (指定管理施設外：3,360 人)

(イ) 加盟競技団体が行う指導者育成事業への経費補助

(5 団体 7 事業、参加者 583 人 指導者 132 人) (指定管理施設外：37 人)

ウ 普及促進事業（29 事業 2,182 人）

(ア) 加盟競技団体が行う普及促進講習会及び研修会開催事業への経費補助

(11 団体 18 事業、参加者 862 人 指導者 197 人) (指定管理施設外：286 人)

(イ) 加盟競技団体が行うスポーツ教室等開催事業への経費補助

(9 団体 11 事業、参加者 832 人 指導者 291 人) (指定管理施設外：662 人)

(3) さっぽろアスリートサポート事業（71 団体 244 事業 909 人）

次世代のトップアスリートを育成するため、札幌のスポーツ活動の充実と発展に寄与する団体及び個人の活動に対し、大会、強化合宿等の参加経費や指導者の育成に関する自己負担分の助成を行った。

ア 市民スポーツ振興事業（1 団体 1 事業 32 人）

市民が広く継続的にスポーツに親しむことのできる事業を行う団体に対し助成を行った。

(A11 JAPAN AMATEUR KICKBOXING CHAMPIONSHIPS 2023 北海道予選大会)

イ スポーツ大会出場及び強化合宿参加補助事業（36 団体 209 事業 464 人）

道外で開催される国際スポーツ大会、全国規模の青少年スポーツ大会及び合宿練習への参加に対し助成を行った。

(ア) 国際スポーツ大会助成（世界クラシック&エクイップベンチプレス選手権大会～伊藤貴裕／1

位、第2次スノーボード競技(AL)タレント発掘育成事業遠征～住永翔吾ほか)

(イ) 全国規模大会助成（2023 全国 U12 フロアボールフレンドシップ大会～SP 平岸／優勝、JOC ジュ

ニアオリンピックカップ 2024 全日本ジュニアスキー選手権大会～菊池奏汰／大回転 5 位ほか)

ウ 青少年冬季スポーツ振興事業（34 団体 34 事業 413 人）

札幌市スポーツ少年団又は青少年を対象とする冬季スポーツ団体が実施する普及・育成事業を行う団体に対し助成を行った。（札幌ジュニアバイアスロンクラブ、札幌クリスタルフィギュアスケートクラブほか）

(4) さっぽろジュニアアスリート発掘・育成事業（12 事業 681 人）

札幌市から次世代のオリンピック選手及びトップアスリートを輩出することを目的に、オリンピック出場を目指し、ジュニア世代の選手の発掘・育成を行った。

ア 発掘事業（3 事業 561 人）

市内小学生を対象に、運動に対する適性テストやセレクションを行い、スポーツ戦略アドバイザー（阿部雅司氏）を中心とした有識者により、将来有望な子どもたちを発掘プロジェクト生として 8 名選出した。

(ア) 6 月 4 日（日）サマージャンプ体験会（荒井山ジャンツェ）参加者数 25 人

(イ) 12 月 16 日（土）スポーツ能力測定会（北ガスアリーナ札幌 46）参加者数 508 人

(ウ) 2 月 17 日（土）第 3 期発掘プロジェクト選考会（中島体育センター）参加者 28 人（8 人選出）

イ さっぽろジュニアスリート発掘プロジェクト（1事業 27人）

発掘プロジェクト選考会より選出した有望な子どもたちをプロジェクト生として、育成8種目に特化したトレーニングや座学を実施した。また、育成事業の選手との合同研修会や種目練習会でレベルアップを図った。

ウ 育成事業(8事業 93人)

冬季5種目（スノーボード、スキージャンプ、カーリング、フリースタイルスキー、ノルディックコンバインド）・夏季3種目、（陸上、バドミントン、テニス）の競技団体と連携し、長期的な展望に立って、日常的な強化練習や国内・国外合宿の支援を行い、次世代のオリンピック選手及びトップアスリートの育成を図った。

【全育成種目による合同研修会】

(ア) 6月18日(日) トレーニング実践①（北区体育館）

(イ) 8月12日（土） トップアスリート研修会（中島体育センター）

(ウ) 10月25日（水）・26日（木） スポーツ栄養セミナー（中島体育センター／オンライン）

(エ) 11月11日（土） トレーニング実践②（豊平区体育館）

(オ) 2月28日（水） メンタルトレーニング講習会（中島体育センター）

(5) トップアスリート活用の取り組み

ウインタースポーツのすそ野の拡大や競技力向上を図ることを目的に、名誉館長として月寒体育館に藤本那菜氏、どうぎんカーリングスタジアムに小笠原歩氏を配置し、一般開放における利用者との触れ合いや教室受講生への指導を行ったほか、カーリング愛好者を対象とした交流大会を実施した。美香保体育館ではトップアスリートである小塚崇彦氏による初心者向けスケート体験会を実施した。

#### 4 スポーツ少年団の普及・育成事業（31事業 9団体 9,090人）

スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちの健全な心身の発育発達に資するために、札幌市スポーツ少年団を設置し、各種事業による普及と組織育成を行った（登録数 198団 3,875人）。

(1) 派遣事業（9事業 86人）

日本スポーツ少年団及び北海道スポーツ少年団が主催する少年大会、リーダースクール並びに全道及び全国種目別交流大会への派遣。

ア 第50回日独スポーツ少年団同時交流（派遣）

開催日：7月25日（火）～8月14日（月）

会場：ベルリン・ブランデンブルグ

参加者数：1人

イ 第62回全国スポーツ少年大会

開催日：8月3日（木）・4日（金）

参加者数：2人

※ 台風6号の影響により、前泊地神戸に渡航後、中止が決定となる。

ウ 令和5年度北海道スポーツ少年団リーダー研修会

開催日：2月23日（金祝）・24日（土）

会場：北海道青少年会館「コンパス」

参加者数：2人

エ 北海道冬のスポーツ交歓交流会（北海道スポーツ少年大会代替事業）

開催日：2月24日（土）～25日（日）

会場：北海道青少年会館「コンパス」

参加者数：9人

オ 第38回北海道スポーツ少年団軟式野球交流大会

開催日：7月15日（土）～17日（月祝）

会場：旭川ドリームスタジアム他

参加者数：1チーム（18人）

カ 第21回北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会

開催日：11月18日（土）・19日（日）

会場：深川市総合体育館他

参加者数：団体男子1チーム（11人）、女子1チーム（10人）

キ 第38回北海道スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：12月10日（日）

会場：千歳市開基記念総合武道館

参加者数：団体2チーム（10人）、個人男子2名、個人女子：2人

ク 第45回日本スポーツ少年団軟式野球交流大会

開催日：8月4日（金）・5日（土）

会場：千葉県大谷津運動公園野球場他

参加者数：1チーム（14人）

ケ 第46回日本スポーツ少年団剣道交流大会

開催日：3月29日（金）～31日（日）

会場：群馬県ALSOKぐんま総合スポーツセンター

参加者数：1チーム（5人）

(2) リーダー養成・育成事業（2事業 19人）

ア 札幌市スポーツ少年団ジュニア・リーダー研修会

開催日：10月7日（土）・8日（日）

会場：深川市ネイパル深川

参加者数：3人

内容：創作体験づくり（サイコロロボット、牛乳パックホットサンド、ペットボトルピザ）、  
班別対抗スポーツフェスタ、リーダー活動についての意見交換、先輩リーダーからの体  
験談発表、ニュースポーツ体験 等

その他：深川市スポーツ少年団（指導者1名 団員7名）との交歓交流事業として実施

イ 札幌市スポーツ少年団リーダー講習会・運動適性テストの開催

開催日：12月2日（土）

会場：中島体育センター

参加者数：16人

内容：講義「スポーツ少年団の組織と運営」「リーダーの責任と役割」  
実技「運動適性テスト」

講師：講義…スポーツ少年団スタートコーチインストラクター 島本 俊男 氏  
実技…スポーツ少年団体力テスト認定員 三浦 淳 氏

(3) 各種目交流大会（11種目17事業 8,963人）

軟式野球（2事業 2,320人）、サッカー（2事業 982人）、ミニバスケットボール（2事業 3,656人）、剣道（2事業 1,134人）、空手（1事業 147人）、バドミントン（2事業 315人）、少林寺拳法（1事業 76人）、冬季スポーツ（2事業 112人）、バレーボール（1事業 72人）、ソフトテニス（1事業 50人）、綱引（1事業 99人）競技の交流大会を開催した。

(4) 指導者育成事業 (2 事業 20 人)

ア 「JSP0 公認コーチングアシスタント」への資格移行手続き講習会の開催

開催日：第1回 8月23日(水) 第2回 11月14日(火)・11月18日(土)

会場：中島体育センター

参加者数：8人

内容：旧「スポーツ少年団認定員」資格保有者を対象とし、マイページ作成から資格移行手続きまでを実践する。

その他：全日程、2区分の時間設定を行い募集

イ 指導者・母集団研修会の開催

開催日：2月17日(土)

会場：中島体育センター

参加者数：12人

内容：「トップアスリートの親から学ぶ～求められる保護者のサポート～」

講師：熊谷 敏夫 氏 (AS ローマ所属 熊谷紗希さん 父)

前 淳一 氏 (レノファ山口 FC 所属 前貴之さん・アビスパ福岡所属 前寛之さん 父)

その他：令和6年度登録、スポーツ少年団指導者資格についての事務説明

(5) 表彰 (1 事業 2 団体 2 人)

札幌市優良少年及び青少年育成者表彰

団体の部：2 団体、育成者の部：2 人

## 5 健康・体力づくり推進事業 (健康づくりセンター 429 事業 44,858 人)

(1) 健康増進・運動指導事業／指定管理事業 (54 事業 36,624 人)

ア 健康増進・健診事業 (8 事業 4,841 人)

健康状態の把握に必要な検査と体力測定及びこれに基づく生活・栄養・運動などの総合指導プログラムを提供する「健康度測定」を行った (4 事業 1,079 人)。

また、健康診断を受ける機会が少ない18歳から39歳の女性を対象とした「女性のフレッシュ健診」や、保健師、管理栄養士、理学療法士が専門的立場から利用者への相談及び指導を行った (4 事業 3,762 人)。

イ 運動指導事業 (46 事業 31,783 人)

市民の健康づくり活動の実践の場として健康増進を図るため、運動フロアにおける運動機器の利用指導、「エアロビクス」などの自由参加プログラム (26 事業 30,812 人)、健康度測定受診者などへの個別運動指導を行った (3 事業 564 人)。

また、各区保健センターが主催する生活習慣病予防教室などの健康づくりに関する事業に運動指導員を派遣し、運動の実践指導を行った (17 事業 407 人)。

(2) 健診・指導事業／受託事業 (8 事業 366 人)

ア 健診事業 (4 事業 352 人)

中央健康づくりセンターにおいて、各保険者が行う「特定健康診査」のほか、受診希望者に対して「大腸がん検診」、「緊急肝炎ウイルス検査」及び「前立腺がん検診」等を行った。

イ 指導業務 (4 事業 14 人)

国保加入の特定健康診査受診者で「特定保健指導 (積極的支援・動機づけ支援)」の対象となった方に、生活習慣の改善を目的とした保健・栄養・運動の指導を行った。

(3) 健康づくり活動の支援事業など／自主事業 (367 事業 7,868 人)

健康・体力づくりをはじめ、生活習慣病や膝痛・腰痛の予防などを目的とした教室や健康づくり活動に対する動機づけとなる講座 (251 事業 5,456 人) のほか、高齢者の健康維持や運動機能向上、生きがいづくり支援のための各種教室 (88 事業 856 人) を行った。また、地域団体等が実施する健康づくりに関する講座へ健康運動指導士、理学療法士などを派遣し、運動の実技指導や健康講座などを行ったほか、健康度測定や女性のフレッシュ健診受診者対象のオプション検査等の実施や運動指導従事者等を対象とした研修会などを開催した (28 事業 1,556 人)。

このほか、令和5年10月からの中央健康づくりセンター改修工事休館による自主事業休止に伴い、教室受講者等の運動継続を目的に、中島体育センターにて健康サポート教室を実施した (44 事業 621 人：自主事業に含めず)。

## 6 施設の管理運営事業

(1) 札幌市体育施設の利用状況／指定管理事業 (単位：人)

ア 札幌市体育館グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
北ガスアリーナ札幌46	92,355	170,203	262,558
中島体育センター	46,799	66,504	113,303
北区体育館	72,774	47,960	120,734
東区体育館	70,031	54,980	125,011
白石区体育館	77,989	85,284	163,273
厚別区体育館	62,331	82,166	144,497
豊平区体育館	59,786	70,418	130,204
清田区体育館・温水プール	124,252	82,049	206,301
体育館	71,464	54,514	125,978
プール	50,272	27,535	77,807
体育館・プール共通	2,516	—	2,516
白旗山競技場	2,980	20,159	23,139
南区体育館	65,727	54,257	119,984
西区体育館・温水プール	182,761	85,200	267,961
体育館	106,263	61,347	167,610
プール	74,296	23,853	98,149
体育館・プール共通	2,202	—	2,202
宮の沢屋内競技場	6,678	30,815	37,493
手稲区体育館	75,509	64,237	139,746
合計	939,972 (前年度 1,095,120)	914,232 (前年度 355,087)	1,854,204 (前年度 1,450,207)

※北区体育館：競技室天井の保全工事のためR5.9～R6.3 競技室のみ休館

※白石区体育館：競技室床面の保全工事のためR5.8～R5.9 競技室のみ休館

イ 札幌市温水プールグループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
東温水プール	73,442	30,701	104,143
白石温水プール	40,784	40,093	80,877
厚別温水プール	21,906	2,382	24,288
豊平公園温水プール	31,896	28,791	60,687
平岸プール	84,949	54,816	139,765
手稲曙温水プール	54,691	31,242	85,933
合計	307,668 (前年度 536,387)	188,025 (前年度 27,950)	495,693 (前年度 564,337)

※厚別温水プール：札幌市による保全工事のためR5.7～R6.3休館

ウ 札幌市美香保体育館

施設名	個人利用	専用利用	合計
体育館	4,965	33,153	38,118
スケート場	23,203	10,452	33,655
公園野球場	—	40,521	40,521
合計	28,168 (前年度 31,089)	84,126 (前年度 75,321)	112,294 (前年度 106,410)

エ 札幌市スケート施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
月寒体育館	55,450	84,783	140,233
体育館	26,703	4,155	30,858
スケート場	28,747	80,628	109,375
月寒屋外競技場	558	16,924	17,482
ラグビー場	—	10,004	10,004
庭球場	—	6,188	6,188
弓道場	558	732	1,290
どうぎんカーリングスタジアム	—	45,532	45,532
星置スケート場	6,744	14,428	21,172
合計	62,752 (前年度 77,053)	161,667 (前年度 151,293)	224,419 (前年度 228,346)

※どうぎんカーリングスタジアム：札幌市による保全工事のためR6.2～R6.3休館

※星置スケート場：天井断熱材脱落対策等による改修のためR5.4～R5.10休館

落水防止対策等による改修のためR6.3休館

オ 札幌市屋外競技場施設グループ

施設名	個人利用	専用利用	合計
円山総合運動場	25,242	193,098	218,340
野球場	—	103,546	103,546
陸上競技場	22,278	43,854	66,132
庭球場	—	45,660	45,660
補助競技場	—	—	0
スケート場	2,964	38	3,002
麻生球場	—	52,917	52,917
野球場	—	50,487	50,487
庭球場	—	2,430	2,430
厚別公園競技場	30,222	175,745	205,967
主競技場	20,713	169,850	190,563
補助競技場	676	5,895	6,571
トレーニングルーム	8,314	—	8,314
共通	519	—	519
平岸庭球場	—	18,983	18,983
合計	55,464 (前年度 58,630)	440,743 (前年度 400,162)	496,207 (前年度 458,792)

カ 札幌市スポーツ交流施設

施設名	個人利用	専用利用	合計
屋内グラウンド	67,008	803,376	870,384
屋外テニスコート	—	10,620	10,620
パークゴルフ場	10,525	181	10,706
屋外球技場	—	4,338	4,338
イベント広場	—	5,673	5,673
合計	77,533 (前年度 73,881)	824,188 (前年度 222,202)	901,721 (前年度 296,083)

※4年ぶりにさっぽろ雪まつり「つどーむ」会場として開催

(単位：人)

体育施設合計	4,084,538 前年度 (3,104,175)
--------	------------------------------

(2) 札幌市健康づくりセンターの利用状況／指定管理事業（単位：人）

施設名	個人利用	専用利用	合計
中央健康づくりセンター	44,761	—	44,761
東健康づくりセンター	34,791	—	34,791
西健康づくりセンター	121,217	—	121,217
合計	200,769 (前年度 212,262)	— (前年度 —)	200,769 (前年度 212,262)

※中央健康づくりセンター：札幌市による保全工事のためR5.10～R6.3休館

【全施設合計(1)+(2)】（単位：人）

今年度利用者数	4,285,307
前年度利用者数	3,321,652
増減	963,655

(3) 学校施設の開放事業／受託事業（単位：人）

ア センター管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	格技室	文化開放	合計
開放校数	169校	25校	17校	16校	227校
開放期間	通年	5月～9月	通年	通年	—
利用者数	582,770 (前年度 532,193)	12,423 (前年度 11,559)	18,180 (前年度 18,776)	5,162 (前年度 7,695)	618,535 (前年度 570,223)

イ 自主管理校の利用状況

施設区分	体育館	グラウンド	合計
開放校数	107校	2校	109校
開放期間	通年	5月～10月	—
利用者数	606,675 (前年度 561,163)	443 (前年度 306)	607,118 (前年度 561,469)

ウ プール開放の利用状況／指定管理事業

施設区分	プール
開放校数	31校
開放期間	7月～8月の土日
利用者数	4,824 (前年度 1,185)

【学校施設の開放合計 ア+イ+ウ】（単位：人）

今年度利用者数	1,230,477
前年度利用者数	1,132,877
増減	97,600

## 7 情報提供及び調査研究事業

### (1) 加盟団体情報の収集・提供

当協会ホームページにおいて各加盟競技団体の基本情報を紹介するとともに、ホームページの相互リンクを行い、利用者の利便性を向上した。

### (2) イベント・教室などの募集情報の提供

SNS、地域ミニコミ誌、ローカルFM局、町内会回覧板などの各種媒体の活用により、健康・スポーツに関する情報を積極的に発信し、施設の利用を促進した（ふりっばーなど）。

### (3) 協会ホームページにおける情報の提供

年齢や障がいの有無に関らず、誰にとっても分かりやすく利用しやすいホームページとなるよう、ウェブアクセシビリティ方針を策定しホームページに公開するとともに、アクセシビリティに関する日本工業規格 JIS X 8341-3:2016 の適合レベル AA に準拠した。

### (4) 医科学的な調査研究及び分析並びに成果・情報の提供

健康・スポーツに関する調査・分析・検証を行い、情報・プログラムを市民、関係機関へ発信した。

### (5) お客様満足度の調査並びに情報の提供

施設利用の満足度調査を実施し、利用者の利用形態、利用頻度、運動器具や施設環境の状況等について集計・分析するとともに、各施設に「ご意見箱」を設置し、利用者の要望や意見等を収集し、サービスの向上や業務改善に活用した。

## 8 社会貢献事業等

### (1) スポーツ経営人材の育成及び活用

#### ア 施設運営管理者の育成事業

公益財団法人日本スポーツ施設協会との連携による「公認スポーツ施設管理士養成講習会」（27人参加）を実施。健康・スポーツ施設の運営管理者を育成した。

また、スポーツボランティアの育成支援として、協会ホームページにおいて道内のスポーツボランティア募集情報を随時掲載し、人材確保を支援した。

#### イ 「事業連携包括協定」の締結と協働事業

北翔大学との「事業連携包括協力協定」により、大会の運営に学生が携わった（5大会 108人）。

#### ウ インターンシップ受入事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため受入を中止した。

### (2) スポーツを通じた社会貢献事業

#### ア プロスポーツへの貢献事業

札幌市を拠点とする以下のプロスポーツ団体の活動を支援した。

##### (ア) パートナー契約の締結

北海道コンサドーレ札幌、エスポラーダ北海道、レバンガ北海道、北海道イエロースターズ、アルテミス北海道、ノルディアーア北海道、

(イ) 北ガスアリーナ札幌 46 にてオフィシャルダンスドリルチーム「コンサドルズ」と「チアダンス教室」を協働開催した。

(ロ) 手稲区体育館にてコンサドーレサッカースクールを協働開催した。

(エ) 北ガスアリーナ札幌 46 にて女子フットサルスクール、南区体育館にてフットサルスクール、その他 6 施設で SSA フットサル教室を協働開催した。

(オ) 北ガスアリーナ札幌 46、清田区体育館・温水プール、西区体育館・温水プール手稲区体育館にてレバンガ北海道バスケットボールアカデミーを協働開催した。

(カ) 北海道日本ハムファイターズと手稲区体育館にてファイターズベースボールアカデミー、北ガスアリーナ札幌 46 にてファイターズフィジカルアカデミーを協働開催した。

イ 地域への安全なスポーツ環境の提供

さっぽろ救急サポーターとして、各施設には応急手当のできる職員を配置し、速やかに応急手当が行える環境を整えた。

ウ 役員就任など

「札幌市中学校体育連盟選手権大会、新人戦大会顧問」など、役員への就任による運営協力、「全日本クラブ男子ソフトボール選手権大会」「札幌陸上競技フェスティバル」などのスポーツ大会の後援（114 事業）を行い、スポーツと健康づくりの活動を支援した。

(3) 地域貢献事業

ア 地域の環境保全及び防犯活動

植栽などの実施、「生物多様性さっぽろ応援宣言企業」への登録など、環境保全活動に積極的に協力した。また、地域における防犯・安全活動への協力として、29 施設で「札幌市地域安全サポーターズ」へ登録し、地域の防犯パトロールや、子ども 110 番の店として防犯活動を推進した。

イ 障がい者就労施設などへの協力

障がい者就労施設（障がい者支援施設、就労継続支援 B 型事業所など）から物品購入、印刷発注などを行い、地域の福祉施策へ積極的に協力した。

ウ 募金活動及び献血への協力

社会貢献や地域支援などを目的とした関係機関との連携支援として、盲導犬育成支援募金に協力した（募金額：217,683 円）。また、「献血サポーター」として登録し、献血へ積極的に参加することを全職員に呼びかけ、北海道血液センターにて成分献血及び全血献血に協力した。

(4) サッポロスマイルパートナーズへの会員登録

「魅力都市さっぽろ」を広く発信し、「笑顔になれる街」の実現に向けて、札幌市のシティプロモート活動に協力した。

## 9 利用者・事業参加者の総数と収支

(1) 総数

内 容	利用者・参加者数（人）
指定管理施設の運営事業（講習会・教室、大会などの参加者数含む）	4,285,307
学校施設の開放事業（講習会など含む）	1,230,477
スポーツ・健康づくり事業の開催など（指定管理施設外）	60,274
合 計	5,576,058 (前年度 4,487,013)
増 減	1,089,045

(2) 収支

収 入 4,406,900,471 円

経 費 4,421,479,479 円

## 10 処務の概況

### (1) 令和5年度末役員・評議員

役職	氏名	当初就任年月日	就任年月日	常勤・非常勤
会長	生島 典明	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
理事長	石川 義浩	R4. 4. 1	R5. 6. 28	常勤
常務理事	柴田 幸雄	R2. 6. 26	R5. 6. 28	常勤
常務理事	長澤 茂嗣	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理事	星 満	H25. 4. 1	R5. 6. 28	常勤
理事	川島 行雄	H27. 6. 26	R5. 6. 28	常勤
理事	沖 洋安	R元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理事	沖田 孝一	R元. 6. 26	R5. 6. 28	非常勤
理事	野坂 政司	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理事	佐藤 勝美	R2. 4. 1	R5. 6. 28	非常勤
理事	山崎 文子	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
理事	北島(川端) 絵美	R3. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監事	酒井 隆	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
監事	庄司 正史	R3. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	川初 清典	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	晴山 紫恵子	H25. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	柳原 正明	H28. 4. 1	R3. 6. 28	非常勤
評議員	堀田 真理	H29. 6. 29	R3. 6. 28	非常勤
評議員	平澤 光志	R2. 4. 1	R2. 4. 1	非常勤
評議員	紺谷 好範	R2. 6. 26	R3. 6. 28	非常勤
評議員	阿部 雅司	R3. 6. 28	R3. 6. 28	非常勤
評議員	金谷 泰亨	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤
評議員	秋野 憲一	R5. 6. 28	R5. 6. 28	非常勤

### (2) 令和5年度末職員数（単位：人）

職種／性別	男性	女性	合計
総合職員	90	39	129
職務限定職員	22	16	38
再雇用職員等	17	0	17
契約職員	43	45	88
臨時職員	1	0	1
パートタイム職員	221	357	578
合計	394	457	851

(3) 理事会・評議員会の開催状況

ア 理事会

開催年月日	議事事項
第1回 令和5年6月13日(火)	(1) 第1号議案 令和4年度事業報告について (2) 第2号議案 令和4年度決算及び監査報告について (3) 第3号議案 令和4年度公益目的支出計画実施報告について (4) 第4号議案 規程の改正について (5) 第5号議案 令和5年度定時評議員会の開催について
第2回 令和5年6月28日(水)	(1) 第1号議案 役職理事の互選について (2) 第2号議案 職務代行順序の決定について (3) 第3号議案 令和5年度収支予算の変更について
第3回 令和5年10月30日(月)	(1) 第1号議案 財務関連規程の改正について (2) 第2号議案 パートタイム職員就業規程の改正について (3) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)
第4回 令和6年3月28日(木)	(1) 第1号議案 令和6年度事業計画について (2) 第2号議案 令和6年度収支予算について (3) 第3号議案 経営計画2030の改定について (4) 第4号議案 会社役員賠償責任保険契約への加入と内容について (5) 第5号議案 諸規程の改正について (6) 第6号議案 常勤役員報酬規程の改正について (7) 第7号議案 評議員会の開催について (8) 報告第1号 職務執行状況報告(理事長、常務理事)

イ 評議員会

開催年月日	議事事項
定時評議員会 令和5年6月28日(水)	(1) 報告第1号 令和4年度事業報告について (2) 報告第2号 令和4年度公益目的支出計画実施報告について (3) 第1号議案 令和4年度決算及び監査報告について (4) 第2号議案 評議員の選任について (5) 第3号議案 役員の選任について
第2回評議員会 令和6年3月28日(木)	(1) 第1号議案 理事の選任について

## (4) 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位：千円)

	平成31年 3月期	令和2年 3月期	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期	令和6年 3月期
経常収益	4,237,526	4,281,698	3,601,812	3,744,595	4,256,330	4,406,900
経常費用	4,195,775	4,316,136	3,742,355	3,949,300	4,287,347	4,421,479
当期経常増減額	41,751	△34,438	△140,543	△204,705	△31,017	△14,579
経常外収益	-	93,483	165,566	254,205	-	-
経常外費用	205	-	-	-	-	-
法人税等	19,887	29,012	520	41,169	520	520
当期一般正味財産増減額	21,659	30,033	△24,504	8,331	△31,537	△15,099
期首一般正味財産額	1,440,655	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645
期末一般正味財産額	1,462,314	1,492,347	1,516,851	1,525,182	1,493,645	1,478,546
当期指定正味財産増減額	-	-	52,000	△13,000	△13,000	△13,000
期首指定正味財産額	20,000	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000
期末指定正味財産額	20,000	20,000	72,000	59,000	46,000	33,000
期末正味財産額	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546
資産合計	2,994,717	2,969,520	2,872,565	3,008,356	2,836,602	2,776,329
負債合計	1,512,403	1,457,173	1,283,714	1,424,174	1,296,957	1,264,783
正味財産	1,482,314	1,512,347	1,588,851	1,584,182	1,539,645	1,511,546

## (5) 公認会計士の関与の有無

会計事務所との監査契約に基づき、年3回の監査と指導・相談を受けている。